

く 尼僧がつむぐ祈りの歴史 く

2026 — 9.19 (sat) — 11.28 (sat)

開館時間／10時～16時（入館は15時30分まで）

休館日／日曜・祝日・休日

観覧料／一般400円、300円（小・中学生）150円、100円※

住 所 千 2 4 8 1 0 0 1 1 鎌倉市扇ガ谷 1 1 5 1 1

アクセス／JR鎌倉駅・江ノ電鎌倉駅から徒歩約7分

TEL / 0467-738501 FAX / 0467-738545

✉ rekibun@city.kamakura.kanagawa.jp

系、乃10名以上、在村中、不計其數、本堂正堂裏、乃是二庵、

き障がい者手帳の交付を受け、方と付添し者、鎌倉市に通学している小学生から大学院生及び市内在住

の方針、観覧料が無料となりますので、受付に身分証・手帳・学生証・カドド等を提示して下さい。

※障がい者専用駐車場をご利用の方は事前にご連絡ください。

100

This image shows a blank, aged, cream-colored page, likely an endpaper or flyleaf of a book. The paper has a slightly textured appearance with some minor discoloration and a small dark stain near the top center. A faint horizontal line is visible near the bottom edge.



www.city.kamakura.kanagawa.jp/rekibun/koryukan.html

鎌倉歴史文化交流館
Kamakura Museum of History and Culture

鎌倉の尼寺

鎌倉には、かつて多くの尼寺がありました。すでに廃絶した寺院もありますが、現在まで続く寺院や、女性を救済する役割を担った寺院も残っています。とりわけ「縁切寺」として機能した尼寺が存在した地域は、全国的にも非常にめずらしいものです。

その歴史は古代にさかのぼります。聖武天皇の詔により各地に国分寺・国分尼寺が建てられ、相模国（現在の神奈川県）でもその存在が確認されています。中世の鎌倉では、鎌倉尼五山と呼ばれる尼寺がありました。なかでも、鎌倉公方家とゆかりの深い太平寺や、幕末まで江戸幕府に公認された縁切寺であった東慶寺は特に知られています。

さらに近世になると、徳川家康の側室・お勝の方（英勝院）によって英勝寺が建立され、水戸徳川家の庇護を受けながら、現在までその歴史を受け継いでいます。

本展では、文字資料や出土品を通して、鎌倉の尼寺と各時代を生きた女性たちの祈りの歴史をご紹介します。



英勝寺 仏殿



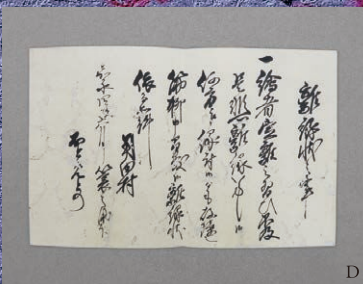
A



B



寺外初公開



D



寺外初公開



F



G

- A 「法華寺」黒書土器「春長」平安時代（相模国分尼寺北方遺跡出土、海老名市教育委員会所蔵）出典：海老名市デジタルアーカイブ「えびなの歴史」
- B 青緑釉文甕（中国・元時代）鎌倉市指定文化財（太平寺跡出土、別願寺所蔵）
- C 脇差（名号付腰刀）「鶴屋」江戸時代（英勝寺所蔵）
- D 縁切状（小丸家旧蔵東慶寺縁切文書）江戸時代（鎌倉市指定文化財（鎌倉園主館所蔵））
- E 化粧道具（江戸時代）（英勝寺所蔵）
- F 拵便紋散蒔絵基盤・持世盤（江戸時代）（英勝寺所蔵）
- G 寛徳阿弥陀縁起給巻（模本）江戸時代（鎌倉市指定文化財（光融寺所蔵））

鎌倉歴史文化交流館

会場 鎌倉歴史文化交流館（別館考古展示室）
開催期間 令和8年（2026）
9月19日（土）～11月28日（土）
開館時間 10時～16時（入館は15時30分まで）
休館日 日曜・祝日・休日
観覧料 一般：4,000円（30歳未満）
小・中学生：1,500円（10歳未満）
※24歳～29歳、18歳未満、学生、高齢者、障がい者、外国人は別途料金あり。
住所 神奈川県鎌倉市扇ガ谷1-5-1
アクセス JR鎌倉駅・江ノ電鎌倉駅から徒歩約7分
TEL 0467-73-8501
FAX 0467-73-8545
Eメール tekun@city.kamakura.kanagawa.jp

※「内」は20名以上団体料金。本館・別館いずれも事前予約制です。また、本館・別館ともに観覧料は別途料金がかかります。また、本館・別館ともに観覧料は別途料金がかかります。また、本館・別館ともに観覧料は別途料金がかかります。

